

大地の声

2025 February

2

JA CHIBATOUKATSU



ノウフク・アワード2024 フレッシュ賞を受賞しました
農福連携等応援コンソーシアム皆川芳嗣会長(左)、
ノウフクアンバサダー城島茂氏(右)と

詳しくは2ページをご覧ください

農福連携の取り組みで受賞

農福連携等を応援するため官民が連携して設立した農福連携等応援コンソーシアムが主催する「ノウフク・アワード2024」で、当JAが取り組み開始から5年以内の優良な事例の団体へ贈られる「フレッシュ賞」を受賞しました。

1月22日に都内で行われた表彰式では、林内閣官房長官や江藤農林水産大臣などからお祝いのビデオメッセージが贈られ、各賞の受賞者を称えました。

当JAからは矢口勇二常務と川島翔平係長が出席。登壇した矢口常務は「JAが持っているノウハウを生かして農福連携の重要性を広めていきたい」と挨拶しました。

ノウフク・アワードは、全国各地で農福連携等に取り組む団体・企業、個人から事例を募集し、優良である取り組みが選ばれます。5回目となる今年は、205の応募のなかから5つの賞、計22団体が選ばれました。

当JAでは引き続き、農福連携の普及に向け取り組みます。



千葉県家の光大会に出席—JAちば東葛女性部協議会



感謝状を受け取る野田地区の石山部長

JAちば東葛女性部協議会の会員6名は昨年12月16日、千葉県農業会館で開催された令和6年度「千葉県家の光大会」に出席しました。

大会では、家の光の普及と活用に向け積極的に取り組んだことが評価され、(一社)家の光協会より野田地区女性部のほか県内の女性部4団体へ「家の光推進感謝状」が贈られました。この日は表彰の他に家の光の記事を活用した体験発表が行われ、西船地区の金子しのぶさんが審査員として参加しました。

その後の記念公演では、「ベジブーケ(野菜で作った花束)」の考案者・小山美千代さんの講演とベジブーケ作りに挑戦し、野菜の多角的な可能性を学びました。

地域活性化に向けて—土支店



土支店は昨年12月18日、社会福祉法人ぶるーむが運営する子ども食堂「ぶるーむクラブ」へ地元野菜を贈りました。

この日は佐藤支店長をはじめとする支店職員が同法人を訪問し、塚本和重部会長を中心に土園芸部会の生産者さんから事前に預かった白菜やホウレンソウ、大根などたくさんの野菜を持ち込みました。

提供した野菜は、翌日開かれた子ども食堂でサラダやおひたしなどの食材として活用されました。

「ぶるーむクラブ」は、月に一度開催されている子ども食堂です。事前の予約が必要ですが、地域を問わず子どもから大人まで100名ほどが交流の場として利用しています。



たくさんお届け出来ました!

より良い品を作るため—JAちば東葛ふたば青果物出荷連合会かぶ部会



JAちば東葛ふたば青果物出荷連合会かぶ部会は1月11日、東部支店会議室で令和6年度かぶ出荷中間検討会を行いました。

この日は生産者12名のほか、東葛飾農業事務所、市場関係者らが出席しました。10月以降の情勢や主産地の状況報告があった後、市場別の販売状況を全体で共有するほか、東葛飾農業事務所の職員から春以降の栽培に向けた病害虫の注意点や防除について説明がありました。

日暮悟部会長は「引き続き品質を保って有利販売に繋げて欲しい。市場の率直な意見も聞かせていただき参考にしたい。」と挨拶しました。



検討会の様子

船橋産イチゴを広めよう—西船地区



松戸徹市長(中央)と会話をする生産者

船橋市内でイチゴを栽培する生産者5名は1月24日、船橋市内のほ場に松戸徹船橋市長を招き、今年の出来映えを報告するとともに食べ比べの試食会を行いました。

今回は当JA管内の西船地区から三須一生さんと田中秀和さんが参加し、それぞれが持ち寄った「やよいひめ」や「ベリーポップはるひ」などの特徴や今年の生育状況、栽培について説明をしました。

松戸徹市長は「若手の生産者がイチゴにチャレンジしている。新たな船橋の魅力にしたい。」と話しました。

船橋市内では、都市農業という利点を活かしたイチゴ栽培を行う生産者が増えており、現在20軒のイチゴ農家が15種類以上の品種を栽培、直売やイチゴ狩りを行っています。

地域を盛り上げるイベントに参加—JAちば東葛西船地区女性部、青壮年部



女性部コーナー

1月18、19日の「りそなグループ B. LEAGUE ALL-STAR GAME WEEKEND 2025 IN FUNABASHI」の開催に合わせ、南船橋駅周辺で開催された「ふなばし FUN FAN FESTA with りそなグループ B. LEAGUE ALL-STAR 2025」に、当JA西船地区女性部、青壮年部が出店しました。

18日に参加した女性部は、小松菜ペーストを混ぜ込んだモチモチつるつる食感の白玉が入った「おしるこ」を販売。前日から準備を頑張った甲斐もあり、たくさんの方から「美味しい」と感想をいただきました。



緑が映えるおしるこ

19日には、青壮年部が小松菜入り焼きそばを販売。部員の皆さんは手際よく調理をし、小松菜のシャキシャキ食感や風味が残る絶妙なタイミングを見計らいながら仕上げていました。

そのほか、先日商品化された小松菜にくまんと小松菜ぼうむくーへんを販売し、たくさんの方に船橋ブランドの小松菜をPRしました。



小松菜入り焼きそばには行列も



お子さんたちにも好評!

懸賞金品付定期貯金の当選番号が決まりました

昨年11月1日から12月30日にかけてお取り扱いいたしました「JAちば東葛冬得キャンペーン2024懸賞金品付定期貯金」の抽選会を、1月16日に柏支店会議室で行いました。

抽選会では湯原靖雄組合長らが見守る中、農林中央金庫千葉支店の浅野卓哉主任、田村正幸常勤監事立会いのもと、3名の職員が厳正な抽選を行いました。当選番号は次のとおりです。



左より 湯原組合長、川間駅前支店・中村職員、西船支店・田中職員、柏支店・清家職員

懸賞金品付定期貯金当選番号

美味しんぼ賞	ほっこり賞	ラッキー賞	スウィート賞	ハッピー賞
加賀屋 天然鰯の しゃぶしゃぶ	ふなっこ畑 秋田県産 手作りきりたんぼ鍋	農協観光 カタログギフト	道の駅しょうなん 柏市産苺のカステラ	JA ちば東葛 黒酢米せんべい
「各組共通」当選番号	「各組共通」当選番号	「各組共通」当選番号	「各組共通」当選番号	「各組共通」当選番号
10436	10083	10319	10157	10068
				10296

見事最優秀賞に！—JA

東部支店の本村優職員が昨年12月10日、千葉県農業会館で行われた2024年度窓口担当者ロープレ選考会第2グループの部門で最優秀賞に選ばれました。

この日は、県内13JAから選出された13名が出場し、2部制で選考が行われました。それぞれがお客様役の職員



当日の様子

員に対しJAバンクアプリ・JAバンクアプリプラスの説明・提案を行いました。

お客様のニーズにあった対応や新たな提案が出来るかなどが見られる中、本村職員は日頃の窓口業務で培った経験と知識を生かし、傾聴の姿勢を心掛けながら挑みました。



見事最優秀賞に選ばれました！

営農情報

【害虫防除資材について】 ～初期防除を徹底しましょう!!～



西船地区経済センター



大島 颯太

今月の営農情報では、毎年多く発生し作物に大きな被害を及ぼすコナジラミ類の防除対策についてご紹介致します。近年コナジラミ被害が増加している主な原因として、温暖化があげられます。コナジラミの被害を抑えるには、「コナジラミを入れないこと」そして「出さないこと」がとても大切です。今回は温暖化が与えるコナジラミへの影響と、その対策として有効な防虫ネットを紹介致します。

コナジラミが増える環境的要因

農薬や天敵だけでコナジラミを抑えるのは非常に困難です。
初期防除を徹底したうえで、農薬や天敵を導入しましょう。

夏季の高温化

- ◆コナジラミの成長・繁殖サイクルが早まり、増殖しやすい
- ◆高温障害の原因になるため、既存の細かい防虫ネットは使いづらい



コナジラミを入れない・増殖させない
対策が必要

冬季の高温化

- ◆越冬するコナジラミの個体数が増加し、次作に残ってしまう
- ◆外に出しても、他の雑草を宿主にして生き延び、再びハウス内に入ってくる



コナジラミを外に出さず、
乾燥処理*し次作につなげない対策が必要

新しい防虫ネットの使用 微小害虫も通さない「通るクン」

－特徴－

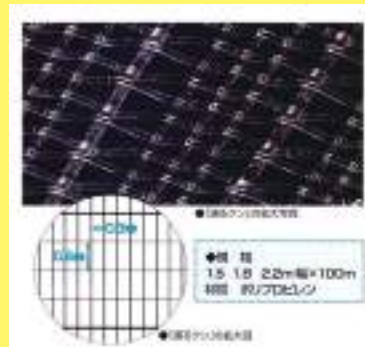
- ◆0.3mm×0.6mmの目合いでコナジラミなどの微小害虫も侵入させない
 - ◆特殊な組織で高い通気性を持つ
 - ◆4～5年分に相当する紫外線にも80%以上の強度を保つ
 - ◆ポリプロピレンを使用しているため、高い保湿性と耐薬品性を持つ
- 他の防虫ネットとの違い⇒通気性が改善され、夏でも使いやすい

－利点－

- ◆コナジラミの侵入を減らし、初期の増殖を抑える
- ◆コナジラミをハウス内に留め、乾燥処理を行うことで、次作につながらない対策ができる

－乾燥処理方法－*

ハウス内に生きた植物がない状態で、10日以上密閉する
(ハウス内の雑草や穴の有無をしっかり確認しましょう)



－価格(税込)－

- ・1.5m×100m 38,824円
- ・1.8m×100m 46,718円
- ・2.2m×100m 57,071円

- ◎別途、送料がかかる場合があります
- ◎4月以降価格変更の可能性があります

突然の 自然災害



万が一のとき、安心できますか？

現在ご加入の保障内容をご確認ください！

地震・水災・台風・竜巻・雪災など自然災害は、いつ、どこで発生するか予測することができません。
何かあったときの備えは万全ですか？

自然災害へ備える 防災備品チェック！

令和6年元旦には能登半島地震が起こり大きな被害をもたらしたことは記憶に新しいです。さらに、令和7年は「阪神・淡路大震災」から30年、「新潟中越沖地震」から20年の節目の年です。事前に備蓄品や防災カバンを準備する、防災マップを確認するなど、事前の対策が必要となります。急な避難に対応できるように、非常用持ち出し品を1人分ずつリュックサックなどにまとめ、避難に支障のない重さとなるよう、分量は一人ひとりに合わせて調節しておきましょう。

いつ何時、大きな災害が襲ってくるかわからない中、大切なことは「防災意識」を持つことです。

非常用持ち出し袋とは？

非常用持ち出し袋

避難所などに持ち出す最低限の生活用品

準備の仕方

緊急時や一時的に避難するときに必要なものを持ち出しやすいバッグなどにまとめておきます。眼鏡や補聴器など体の機能を補うもの、危険な状況にあることを知らせるホイッスルは必ず準備しておきましょう。

置き場所

体の機能を補うもの、助けを呼ぶためのもの、携帯電話の充電器は常に携帯を。その他のものは市販の防災バッグなどに必要なものを追加して、玄関など持ち出しやすく外出時も取りに戻りやすい場所に置きましょう。

ポイント

最近はカードや携帯電話での決済が発達していますが、災害時は利用できなくなる可能性があるため、現金を持っていると安心です。また、充電器は電気が止まっても使用できるソーラー式や手回し式を準備しましょう。



飲料水 2ℓ～	非常食 3食	箸・フォーク・スプーン 1セット	下着・靴下 2～3日分	長袖・長ズボン 1着	タオル
ウェットシート 各1パック (保冷剤・口拭きシート) (保冷剤 各20～30枚)	救急セット	体温計	ラップフィルム	ゴミ袋・ポリ袋 各5～6枚	トイレットペーパー 1ロール
マスク 多めに	簡易薬・お薬手帳	非常用トイレ 5～6回分	生理用品	新聞紙 新聞1日分	油性マジック
印鑑・身分証明書・通帳のコピー	現金 計2万円 (小銭と千円札を用意)	エアマット	LEDランタン	レジャーシート	使い捨てカイロ

非常用持ち出し袋を
準備しておこう！